

12/4

## 駅伝でチーム団結

与一くん駅伝大会



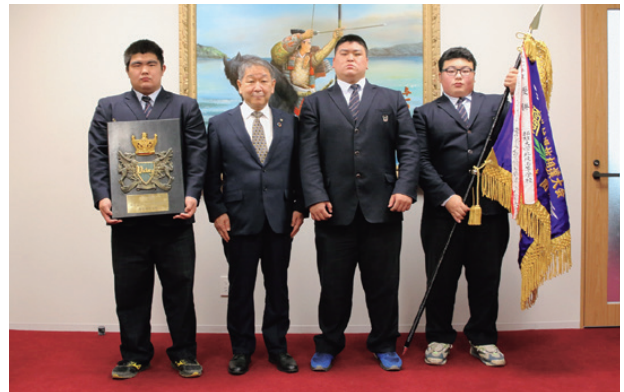
小春日和の中、第9回与一くん駅伝大会が美原公園で開催されました。2年ぶりの大会には市内全小学校19校から32チームが参加し、日ごろの練習の成果を一本の襷に託し、選手は最後まで諦めずに走り抜きました。

コロナ禍のため声援は自粛されていましたが、沿道では大きな拍手による応援が続いていました。今年も深紅の優勝旗は大田原小学校に飾られることとなりました。

11/17

## 全国団体3位入賞

黒羽高等学校相撲部 表敬訪問



昨年10月に開催された第105回高等学校相撲金沢大会において、団体戦第3位という好成績を収めた黒羽高等学校相撲部の皆さんが、市長を表敬訪問しました。

全国から集まった強豪校を相手に、予選と決勝トーナメントを勝ち進み、惜しくも準決勝にて優勝校である鳥取城北高等学校に敗れてしまいましたが、全国の舞台で快挙を成し遂げた黒羽高等学校相撲部の更なる活躍を期待します。

12/14

## 目指せ全国大会優勝

大田原ボーイズ 表敬訪問



昨年11月に開催された「第52回日本少年野球春季全国大会栃木県支部予選中学生の部」で優勝を果たした、大田原ボーイズの選手、監督、保護者が大会結果報告のために市長を表敬訪問しました。

厳しい試合を乗り越えたユニフォームと、栄冠を勝ち取った証のメダルを身に着けた選手たちから、市長に対し全国大会への決意が語られました。

3月に行われる全国大会での活躍が期待されます。

12/6

## 4年連続12度目の都大路へ

那須拓陽高等学校陸上部 表敬訪問



昨年11月に開催された「第74回栃木県高等学校男子駅伝競走大会」で4年連続12度目の優勝を果たした、那須拓陽高等学校の校長、監督、選手が市長を表敬訪問しました。大田原中出身の松本海音さん、矢吹丈さん、黒羽中出身の藤田アトムさん、そして今年から監督に就任した廻谷監督が全国大会に向けた意気込みを熱く語ってくれました。

12月26日の全国大会では、総合34位と一昨年より順位を4つ上げるなど、栃木県代表として最後まで諦めない走りを見せてくれました。

12/27 明日を担う子どもたちのために  
那須りんどうの会 寄附



NPO法人明るい社会づくり運動の団体賛助会員である那須りんどうの会より10万円の寄附がありました。当団体が毎年実施していたチャリティーイベントがコロナ禍で自粛となったため、その資金をご厚意により寄附していただくこととなりました。

いただいた寄附金は、子育て支援基金に積み立て、市が行うさまざまな子育て支援事業の財源として役立てられます。

12/17 卓越した技能を称えて

技能奨励賞授与式



技能検定は、技能者の有する技術を一定の基準によって検定し、これを公証する国家検定制度で、職業能力開発促進法に基づいて実施されています。本市の産業に従事する技能労働者で、技能検定において、1級および単一等級に合格した方の卓越した技能を称え、技能奨励賞を授与しました。

今回は26名の合格者が受賞し、本市産業の発展が期待されます。

市史編さんだより vol.16

今から1000万年以上前、日本列島の大半はまだその姿を現しておらず、大部分が海底にありました。大田原市も八溝山地などが島のように海面から顔を出している以外は、すべて海の底でした。その時代の地層は、現在では厚い扇状地などの礫層に覆われ、地表では見ることがほとんどできません。しかし、黒羽地区の那珂川右岸にある高岩は、その時代の海底に堆積した砂や泥、火山灰などからできています。この周辺の地層は、右上の写真からも分かる通り西(右)に向かっておよそ10度傾いているため、那珂川より西では地下に分布しています。

河岸に近寄りよく観察してみると、礫混じりの砂岩層の中に、貝殻の破片が化石となってたくさん含まれているのが分かります(右下の写真参照)。破片のため詳しい種類は分かりませんが、ニシキガイの仲間と考えられます。この化石は、地層中に破片で含まれていることから、死後に沿岸流などに掃き寄せられて、波打ち寄せる海岸近くの海底に堆積したものと考えられます。

那須町寄りの余笹川河岸では、同じ時代の地層からオキナエビスという巻貝の化石が発見されています。いま私たちの暮らしている足元が、かつて海底だったと思うと不思議な気持ちになります。

(自然部会 伴 敦志)

自然部会調査速報⑤  
～大田原は海底だった～



那珂川の清流に洗われている高岩(黒羽地区)



高岩の砂岩層に見られる貝化石の破片